

第9回松本市西部地域公共交通協議会の開催結果について

1 日時

平成21年10月16日（金）

14時00分～15時30分

2 場所

松本市役所 議員協議会室

3 出席者

信州大学 高瀬副会長、松本市建設部長 丸山委員（代理丸山建設課長）、東日本旅客鉄道(株)長野支社 萩原委員、松本電鉄 惣洞委員、タクシー協議会 伊藤委員、梓川地区町会連合会副会長 塩原委員、島内地区町会連合会 河野委員、島立地区町会連合会 百瀬委員、新村地区町会連合会 山田委員、和田地区町会連合会 北野委員、神林地区町会連合会 村上委員、今井地区町会連合会 梶原委員、笹賀地区町会連合会 太田委員、中信地区校長会 唐澤委員、松本警察署 西澤委員、長野運輸支局 千村委員（代理山岸）、松本地方事務所 竹淵委員

欠席 松本市政策部長 中澤会長、松本国道出張所 三木委員、松本建設事務所 米山委員、芳川地区町会連合会 窪田委員、交通政策課 小林委員

4 会議事項

ア 第8回開催結果について（原案どおり承認）

イ コミュニティバス実証運行の利用状況について（原案どおり承認）

ウ アンケート調査の実施について（原案どおり承認）

エ 住民意見交換会の開催について（原案どおり承認）

オ その他（原案どおり承認）

（ア）次世代交通を考える市民フォーラムの開催について

（イ）次回協議会の開催について

5 会議で出された主な意見等

項目	意見等
コミュニティバス実証運行の利用状況について	○路線ごとに特徴が出てきたので、路線ごとの特徴に合わせたルート、時刻の設定が必要。 ○路線ごとの接続はあまり利用が見られないので、考慮する必要はないのではないか。 ○乗客数を増やすために、無料乗車の日を決めるなどして乗ってもらう努力、コミュニティバス（タクシー）が運行されているかどうか分かりにくいので、車両に色を塗るなどして住民に分かりやすくする、運賃を見直す等の検討してもらいたい。

	<p>⇒利用の低いところについては、PR不足ということもあるので、努力していきたい。</p> <p>○公民館の講座等を活用して、コミュニティバスについて周知するような場を設けてはどうか。</p> <p>○料金は安ければよいというものではなく、地域住民が将来のためにも路線を維持したいと意思表示することが大切。すべてを満足させることはできないので、不便でも利用するための意識改革を進めなければならない。</p> <p>○学校にも周知を図ってほしい。</p> <p>⇒路線沿線の駅や、大学等の要所には説明してある。沿線高校などには今後、協力を依頼したい。</p> <p>⇒資料等いただければ校長会で話をしてもよい。来月、ノーマイカーウィークなので、先生も含め、学校関係者に周知したい。</p>
アンケート調査の実施について	<p>○留置きのアンケートについて、1人が複数回答することもあり得るが、このことについてはどうか。</p> <p>⇒想定はしているが、コミュニティバスの使われ方を知る目的で実施するので、問題はない。</p> <p>○意見交換会の中で、アンケートを実施してはどうか。</p> <p>⇒前向きに検討したい。</p>